

アドマイヤキラメキの09

全40口 ●1口55万円(総額2,200万円)

生産 ノーザンファーム 繋養 ノーザンファームYearling



146

146

アグネスタキオン × アドマイヤキラメキ [メス]



アグネスタキオン
栗 1998

メス・栗毛
2009年
3月14日

アドマイヤキラメキ
栗 2002

*サンデーサイレンス Sunday Silence 青鹿 1986	Halo	Hail to Reason
		Cosmah
	Wishing Well	Understanding
		Mountain Flower
アグネスフローラ 鹿 1987	*ロイヤルスキー	Raja Baba
		Coz o'Nijinsky
	アグネスレディー	*リマンド
		イコマエイカン
*エンドスウィープ End Sweep 鹿 1991	*フォーティナイナー	Mr. Prospector
		File
	Broom Dance	Dance Spell
		Witching Hour
エヴリウイスパー 栗 1997	*ノーザンテースト	Northern Dancer
		Lady Victoria
	*クラフティワイフ	Crafty Prospector
		Wife Mistress(9)

ポイント

POINT

丈夫で長持ち、オープン馬を量産しながら「いぶし銀」という印象が抜けきらなかったクラフティワイフ母系も昨年遂に頂点を極めました。今後さらに太い枝葉を広げていくことでしょう。父の特徴が色濃く出た本馬は筋肉量に恵まれ、肩甲骨は長く左右幅があり、心肺機能の高さを示す馬体形成です。短めの膝下、反応の速い繋の形状から脚捌きの速いピッチ走法でターフを駆ける姿が想像されます。多くのトップサイアーが掛けられてきた母系ですが、意外にもアグネスタキオンとの配合は初めてです。急逝した父との刹那のめぐりあわせを思うと、本馬への期待はいっそう高まります。

母系

FAMILY

母の父 *エンドスウィープ End Sweep は米国産、米6勝、ハイランダー H-CAN1、ジャージー ショアBCS-G3。【BMS:主な産駒】ゲシュタルト(京都新聞杯-G2)、アルーリングボイス(ファンタジーS-JPN3、小倉2歳S-JPN3)、シーズ インディ マネー(シーウェイS-G3)、オースミマーシャル(野路菊S-OP)、ベイ ストーリー(WATCパースC-G2 2着)

母 アドマイヤキラメキは2~5歳時、26戦4勝。本馬が初仔

祖母 エヴリウイスパーは入着。産駒

ダークメッセージ:5勝、門松S-OP、御堂筋S、許波多特別、日経新春杯-G2 2着、同3着、シリウスS-G3 2着、同3着、ベテルギウスS-OP 2着、トパーズS-OP 2着、万葉S-OP 2着、大阪-ハンブルクC-OP 2着、みなみ北海道S-OP 2着、ホープフルS-OP 3着

ケアレスウィスパー:3勝、丹沢S、南関東②入着、関東オークス-JPN2 2着、TCK女王盃-JPN3 5着

トーセンジョーダン:3勝、ホープフルS-OP、葉牡丹賞、共同通信杯-G3 2着、アンドロメダS-OP 2着、中日新聞杯-G3 4着、④

ミッキーウイスパー:兵庫(公)2勝、中央2勝、④

曾祖母 *クラフティワイフ Crafty Wife は米国産、米7勝、Susan's Girl S、Desert Vixen S、Hibiscus S、Playpen S、Faneuil Miss S、Heather S、Sunrise S 2着、Ta Wee S 2着、Buddieia S 2着。産駒

ビッグショウリ:7勝、マイラースC-JPN2、銀嶺S-OP、コーラルS-OP、プロキオンS-JPN3 2着、根岸S-JPN3 2着、阪急杯-JPN3 2着、群馬記念-JPN3 2着、山形・北関東(公)4勝

ビッグテースト:1勝、最優秀障害馬、障5勝、中山グランドジャンプ-JG1、中山新春ジャンプS、春麗ジャンプS

バトルバニヤン:6勝、カシオペアS-OP、関門橋S、新潟日報賞、富士S-G3 3着、京都金杯-G3 5着、④

スパイキュール:7勝、ベテルギウスS-OP、摩耶S。種牡馬

クラフティゴールド:4勝、洲本特別、藤森特別、由布院特別、小倉3歳S-JPN3 3着、障2勝

キョウエイフォルテ:6勝、貴船S、シリウスS-JPN3 3着

ブリリアントベリー:3勝、臥牛山特別。カンパニー(天皇賞・秋-G1、マイルチャンピオンシップ-G1)の母